

平成 29・30 年度 土木学会複合構造委員会 第 1 回幹事会議事録

日 時：平成 29 年 5 月 12 日（金）14:00～17:10

場 所：主婦会館 会議室

出席者：西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，大久保幹事，葛西幹事，~~川端幹事~~，~~北根幹事~~，~~斉藤(成)幹事~~，齋藤(隆)幹事，平幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，滝本幹事，杉岡事務局

配布資料：

- 幹1-0 平成29・30年度複合構造委員会第1回幹事会議事次第
- 幹1-1 平成27・28年度複合構造委員会第12回幹事会議事録（案）
- 幹1-2-1 平成29・30年度複合構造委員会幹事会名簿・業務分担
- 幹1-2-2 平成29・30年度複合構造委員会組織図
- 幹1-2-3 平成29・30年度複合構造委員会小委員会体制案
- 幹1-2-4 常設委員会および第一種小委員会の委員変更・追加
- 幹1-2-5 平成29年度複合構造委員会スケジュール
- 幹1-3 平成29・30年度複合構造委員会委員名簿
- 幹1-4-1 平成28年度委員会決算
- 幹1-4-2 平成29年度委員会予算（案）
- 幹1-5-1 平成29年度重点研究課題（研究助成金）の審査結果のご報告
- 幹1-5-2 平成29年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果について
- 幹1-6-1 平成28年度委員会活動度個別調査書確認の依頼__29複合構造
- 幹1-6-2 平成28年度委員会活動度個別調査書__29複合構造
- 幹1-6-3 （参考資料）情報発信数の数え方（H28年度）
- 幹1-7-1 H28自己評価，H29計画作成__依頼文書
- 幹1-7-2 【記入様式】JSCE2015重点課題2016年度自己評価__複合
- 幹1-8-1 （依頼）土木学会継続教育実施委：eラーニング事業に関するアンケートへのご協力お願い
- 幹1-8-2 （別紙）土木学会eラーニング事業に関するアンケート__複合
- 幹1-9-1 橋梁技術温故知新セミナー設置企画案
- 幹1-9-2 第1回温故知新セミナー会告
- 幹1-9-3 後援依頼
- 幹1-9-4 1706-0418初校（会告）
- 幹1-10-1 研究討論会連絡
- 幹1-10-2 （提出用）H29年度研究討論会一覧0426
- 幹1-10-3 土木学会全国大会 研究討論会（提出資料）
- 幹1-11 年次学術講演会CS05プログラム編成（案）
- 幹1-12 第12回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹1-13 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹1-14 出版関連報告
- 幹1-15 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹1-16 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹1-17 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 幹1-18 H106 FRPによる補修・補強指針作成小委員会

- 幹1-19 H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会
幹1-20 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
幹1-21-1 H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
幹1-21-2 複合構造レポート通読結果(H213)対応表
幹1-21-3 会告案_H213__更新・改築
幹1-21-4 行事計画書_H213__更新・改築
幹1-22 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
幹1-23 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
幹1-24 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
幹1-25 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
幹1-26 H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
幹1-27 平成29・30年度複合構造委員会第1回委員会議事次第（案）
幹1-28 第8回アジア土木技術国際会議におけるセッション提案の募集

議事内容：

1. 委員長挨拶および自己紹介

西崎委員長より、幹事会開催にあたり挨拶があった。H29・30年度の新体制がスタートする。複合構造委員会がまだまだ発展することを目指したいのでご協力をお願いしたい。
各幹事の自己紹介がなされた。

2. 第12回幹事会議事録案の確認（資料 幹1-1）

平幹事より、資料に沿って説明があり、以下を修正した上で承認することとした。

- ・6.平成29年度全国大会研究討論会 岩波先生を候補しては→候補としては
- ・8.(4)H150 8月中旬に最終員会→最終委員会
- ・8.(9)H215 4/17に全体委員会→4/19に全体委員会

3.平成29・30年度複合構造委員会幹事会体制ほか（資料 幹1-2）

溝江幹事長より、資料に沿って説明があり、下記について確認した。

- ・業務分担および組織については資料の通り確認した。
- ・常設委員会、小委員会およびWGの委員変更や追加があり資料1-2-4に記載の通りである。
- ・シンポジウム小委員会は推薦に関する委員追加があるため、第1回の親委員会で承認をいただくが、シンポジウムが終了した12月ごろが基本となる。
- ・H29年度のスケジュールを確認した。

4.平成29・30年度複合構造委員会構成（資料 幹1-3）

溝江幹事長より、資料に沿って説明があり、下記について確認した。

- ・前期では連続で委員会を欠席している委員が数名いた。委員会は出席だけが活動内容ではなく、小委員会やイベントなどで活動していただいていることもある。したがって、各委員に意思確認を行い、委員を構成することとなった。

5.平成28年度委員会決算と平成29年度委員会予算案（資料 幹1-4）

溝江幹事長より、資料に沿って説明があり下記について確認した。

- ・H28年度の決算は予算に対して40万円程度あまった。特定の委員会(特に1種委員会)にメリハリをつけて配分をするほうがよかった。
- ・H29年度の予算はB評価と考えられるので、昨年度より減額されると予想するため、120万円と140

万円配分された場合の内訳を案として作成した。

・今年度はさらに少なくなる可能性もあるため、100万円の場合も考慮しておく。この場合、予算配分が厳しくなるので、2種委員会で使用できる予算を予備費とする。120万円の場合も予備費で考えるのがよい。

6.平成29年度重点研究課題(研究助成金)の選考結果 (資料 幹1-5)

溝江幹事長より平成29年度重点研究課題(研究助成金)の審査結果について、複合構造委員会が応募した「我が国への留学生の国際的構造エンジニアとしての活躍を支援する構造設計教育プログラムの開発」は採択されなかったが、連名で応募した「学会内の各種示方書類の基本事項の共通化と基本設計コードの策定」は採択されたとの報告があった。

今回の応募については、現テーマで再度チャレンジするか、新たなテーマを考えるかについて、企画WGで検討することとなった。

7.平成28年度委員会活動度評価結果 (資料 幹1-6)

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。H28年度の活動度評価は総計で814ポイントであり、評価としてはBとなる。

8.JSCE2015の2016年度自己評価と2017年度計画 (資料 幹1-7)

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。今年度はアクションプランの3年目となる。10の重点課題に対する自己評価をシートに記入したので確認をお願いしたい。また、10項目以外の特筆すべき活動について、なにかあれば連絡をお願いしたい。

9.土木学会e-ラーニング事業 (資料 幹1-8)

溝江幹事長より、資料に沿って説明があり下記について確認した。

- ・土木学会では会員の知識と能力の向上に資する継続教育のため学習機会の拡大を目的に、独自のインターネットでのe-ラーニングを提供することを検討している。H30年度中の提供を目標としており、各委員会で協力できるかどうかを回答する必要がある。
- ・複合構造委員会では、教育・研修を目的とし、e-ラーニングを意識した検討や定期的な講習会は実施されていないので、提供意向はないと回答することとした。

10.H29年度全国大会・研究討論会 (資料 幹1-10)

溝江幹事長より、資料に沿って説明があり下記について確認した。

- ・研究討論会の日程が9/13(水)13:00-15:00で決まった。
- ・現在、話題提供者の選定を行っている。外部からは上下水道から了解を得ており、その他に電気とトンネルに打診している。

11.第12回復合・合成構造の活用に関するシンポジウム (資料 幹1-12)

大久保幹事より、資料に沿って説明があり下記について確認した。

- ・現在は論文の応募中であり、5/26が申し込み締切日となっている。締切後の論文応募数により再応募をする時間をとるかを建築学会に確認する。
- ・論文推薦を行うことで委員を増員する計画であり、承認後に小委員会を開催する予定である。

12. 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (資料 幹1-13)

牧幹事より、資料に沿って説明があり、下記について確認した。

- ・第4号は5/末までにJ-STAGEへアップロードできる予定である。招待論文1編、一般論文3編、一

般報告4編，小委員会報告1編の合計9編となった。

- ・今年度のメンバー構成案については資料に示す通りで考えている。推薦をシンポジウム小委員会に移行するが，メンバー数は現状の10名を考えたい。
- ・次回から推薦がシンポジウム小委員会で行われることについてホームページを変更する。

13. 出版関係（資料 幹1-14）

大久保幹事より，資料に沿って説明があった。販売数が原価を割っているレポート関係は販売促進をお願いしたい

14. 橋梁技術温故知新セミナー設置企画（資料 幹1-9）

広瀬幹事より，資料に沿って目的，分野，対象などについて説明があり下記について確認した。

- ・第1回は7/19(水)16:00-17:30で開催される。複合構造委員会と鋼構造委員会の共催とする。
- ・講演者は依田先生にお願いしている。
- ・鋼構造委員会との共催になっているので，事業計画の配分などがどうなるかを杉岡事務局が確認する。

15. 平成29年度全国大会・年次学術講演会（資料 幹1-11）

広瀬幹事より，資料に沿って説明があり下記について確認した。

- ・投稿数は39編で6セッションとなった。
- ・発表は7分で質疑が3分でトータル10分となる
- ・座長は資料の通りで，該当者には事前に承認を得ている。

16. 小委員会報告審議事項（資料 幹1-16～1-26）

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

牧幹事より，幹事会が6/15開催予定で，各編はこの日程に合わせてWGを開催する予定である。また，北海道大学の古内先生を委員に追加したいとの報告があった。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

葛西幹事より，幹事会で原稿の審議をお願いしたいとの要望があった。来週にデジタルデータを配信し5/末までに意見を集約したいとのこと。

(3) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

中村幹事より，説明があった。これまで実施してきたWGは一旦終了し，今年度はWG内容を組み替えて議論する予定である。原則的な事項と鋼とコンクリートを統合した指針案を作成する予定で，施工に詳しい立神氏を幹事に加えたい。

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

平幹事より，説明があった。今年度はあと2回の委員会を行い，報告書を取りまとめる。また，土木学会論文集へ投稿する。成果については複合構造示方書へ引き継がれる予定であり，どこかのタイミングで話題提供を行うことを考えている。

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事より，説明があった。報告書を取りまとめ中で，次回は5/30に開催予定である。今後の予定は8/末に脱稿，11/末に講習会の開催を予定している。小委員会一覧表にパネルディスカッションを実施した旨の記載をお願いしたい。

(6) H213 建造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本幹事より、説明があった。通読意見に対応して出版に原稿を提出した。7/21に講習会実施予定である。会告が7月号の掲載となり講習会までの期間が少ないため、親委員会でアナウンスをした。

(7) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

溝江幹事長より、説明があった。6/1に第6回の委員会を開催予定である。

(8) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

下村副委員長より、説明があった。4/19に第4回委員会を開催し、三井住友建設の森田氏に話題提供していただいた。H30年に報告書を作成する予定なので、出版企画の作成が必要となる。

(9) H216 複合建造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

松本幹事より、説明があった。4/22に幹事打合せ、6/16に第4回委員会を開催し、性能評価と検査についての話題提供を予定している。H30年に報告書を作成する予定なので、出版企画の作成が必要となる。

(10) H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会

平幹事より、5/31に第1回委員会が予定されており、まず全体での会議を数回行い、その後WGに分かれて検討することが報告された。

(11) H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

西崎委員長より、5/12に公募が終了し、現時点で16名の応募があることが報告された。第1回委員会は6～7月頃に開催の予定である。

17. 第8 回アジア土木技術国際会議におけるセッション提案の募集について（資料 幹1-28）

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。セッション提案の募集であるが、状況を把握するため奥井先生に相談することとなった。

18. 第1回複合構造委員会議事次第（資料 幹1-27）

溝江幹事長より、第1回委員会の議事次第案について説明があった。内容を確認して追加変更事項があれば連絡することとなった。委員会報告として、H213 建造物の更新・改築技術に関する研究小委員会の報告を行う。

19. その他

特になし。

以 上

（記録・文責：大久保）